

精華町議会講演会・意見交換会（実施報告書）

1 開催日時・場所

平成29年2月19日（日）午後3時00分～午後5時30分
精華町議会 本会議場（精華町役場庁舎6階）

2 テーマ

議員の『定数・報酬について』の講演会と意見交換会
～ 幅広い人たちが議員として活躍できる議会をめざして ～

3 次第

- ① 開会あいさつ
- ② 講演会 講師 江藤 俊昭（山梨学院大学法学部教授）
 < 講演テーマ >
 「住民自治の根幹」としての議会を作動させる
 ～ その条件整備を考える ～
- ③ 現状説明
- ④ 意見交換
- ⑤ 閉会あいさつ

4 参加者

27名
（男性 26名、女性 1名）



5 出席議員（16名）

杉浦 議長
村田、岡本、宮崎、森元、今方、柚木、佐々木、山本、神田
森田、塩井、山口、安宅、奥野、坪井

【 欠席：内海、三原 】

6 意見交換の報告

□ 意見交換で出された質問及び回答は、次のとおりであります。

[内容等は、可能な限り、発言者の声を活かした形で表示しています。]

(質問) 1 月7千円の政務活動費で 調査活動など できるのか

報酬については高くはないけど安くもない。近隣の市町村と比べてもそんなに安くない。10何万のところがあるから。現状の24万が専業でやっているのは厳しいというのがそちらのご意見だと思うのですが、また手取りでどれくらいかはわかりませんが、報酬は議員さんに個人的に入るものなので議会総意では安いと判断されているんですが、もう一つは、政務活動費が7千円と聞いてびっくりしました。7万だったらわかるんだけど。7千円で何ができるのかと思います。東京に行って1泊して帰ってくるだけでも夜行バス使って、ビジネスホテルに泊まって帰ってくるのに3万円はいると思う。月7千円で、はたして、議員として政務活動というか調査ができるのかどうかと思う。いつから7千円の制度が続いているのか知らないが、もしかしたら議員のみなさんは、政務活動を本格的に力を入れて精華町のために新しいことを提案してやろうとか、つくってやろうとか、いろんなことを調べるといふ事をあきらめておられるんじゃないだろうか金額からして推理します。町でのお金の使い方などよくわかりませんが、視察などありますよね。視察に行って町に何か取り入れるために、状況を泊まって見て視察して帰ってくるのは、そういう金額は別のところから出ているという事なのか？皆さん真剣に議員として頑張っていこうと思うんだったら、政務調査費の増加を議会として出されるべきだと思います。視察などどうなっていますか？

(回答) 1

簡単に申し上げれば、今の7千円は会派もしくは議員に対するお金です。それ以外に委員会になりますので、委員会での視察は年に1回。上限5万円での予算が組まれています。その中には、さっきおっしゃったように交通費・宿泊費がはいるわけで、だいたいほぼ使い切っている状況。2つの委員会に入っていれば2回行くだけのチャンスがある。それ以外に個々の議員や会派で視察でない研修会など、それぞれの調査だけでない住民との懇談会をするための会場を借りるとかいった場合にも使わせていただいています。はっきり言って、個々

の議員さんにより違うかもしれませんが、6ページの④に書かせていただきましたが、役場の控室で事務をする場合コストはかかりませんが、自宅でやる場合はまったく出ませんので、パソコンのインク代なども自己負担です。事実上報酬が上がっても100%自分に入るわけでなく、実際にはそんなかのいくつかみだしをして政務活動的な費用を負担されているのが現状です。額については個々議員によって違うと思いますが。そういう実情が報告されているという状況です。政務活動費に関しては、うちの場合1円以上すべて領収書を、交通費は別ですが、領収書がいりますので、いろんなところで起こっているような不正など、かなり起こりにくい状況です。

(質問) 2 住民の声を反映するための・・・、議員定数と報酬の考え方は

江藤先生の講演をお聞きしまして、会派代表者の皆さん、どのように感じられたか3分くらいでお願いしたい。これが1点目。議員報酬の関係・定数の問題。ここに書かれてますように。私が経験したのは、人口1万3832名だったと思います。議員定数が22名だったと思います。現在3万を超えています。今現在18名で頑張ってもらっています。先ほどの話を聞きますと、18年くらい報酬審議会が開かれていなかったと。当然、議員報酬はそのままだと。年齢構成を見せていただきますと、非常に高齢化されてきております。これなんでやいうたら、当然、生活を議員報酬でしていくのは若い人には大変やなど。それも、永久就職でもなんでもない。4年間と。どうしても若い人が嫌がると。そうすると、今回、報酬審議会の答申がいくらかくらい出るのか知りませんが、最低生活していこうと思たら、報酬としては、それ相当の報酬のアップをお願いされたらどうかなと。そうでないと魅力ある議員として活動するには、裏づけとして生活の保障をせんことには。金を持ってへん人は議員になれないと。こんなことでは住民の声を反映することはできないのかなと思います。まず、会派代表者の方に先生の講演の内容の感想をお聞きしたい。それから、どちらでも結構です。議員定数削減を提案された方がおられると思いますが、その方のご意見を、何故、報酬はそのままやったんやという事もお聞きしたいと思います。

(回答) 2

(精華の会代表者) 我々精華の会はいろんな問題を抱えています、国・府、また、

精華町に関する事を決議するときには意見が分かれます。今日、先生の話もありましたが、先月、我々もただこういう形ではいかんじゃないかという事で、東京へ陳情も行ってきております。精華の会として10名で行きますと本省にしてもどこでも聞いて頂けると、少しでも精華町のためになればという活動を行ってきていますし、今後ともまた、そんな活動をしていきたいなと思います。

(公明党代表者) 現在2名で会派をさせていただいています。私たち公明党会派というのは、常にやはり住民の視点にたっついていくこと。そして、住民が何を考えどういうことを求められているのかという事に視点をおいています。そういう意味では、現場に出かけて住民さんの声を拾い上げていく。要望・相談など受けて情報を集めて、特に議会、一般質問などでその声を提案していく。そしてそれを形にしていく。その積み重ねの中で、精華町に住んで良かったと言っていただけのような、まちづくりを目指していきたいと考え日夜活動をしています。今、精華町は基本条例も早く策定させていただきました。やはり議会の不要論などありまして、議会は一体何をしているのか、どういう活動をしているのかわからないじゃないか、という声がある中で、議会基本条例に基づいて取り組んでいる。その中で、通年議会そして委員会活動を充実させていく。調査研究を委員会のなかで委員会中心制ですので、しっかり委員会の中で調査して委員会としても提案していく。そういうような活動もしておりますし、一問一答方式。ただ単に町長に投げかけるだけじゃなくてそれをキャッチボールしていく。そしてもっと実のあるようにしっかり形にできるような一般質問のあり方であったりとかしておりますので、要は皆さんの声を吸い上げてそれをかたちにして本当に精華町に住んで良かったと言っていただけのようなまちづくりを目指して私たち公明党会派としても、全力で取り組んでまいりますのでよろしくお願い致します。

(日本共産党代表者) 先生のお話の中で、議会は住民自治の根幹をなすものであるという定義でありまして、その通りだと思って、私どもも活動しています。こうした責務を果たすためには、住民の皆さんの要望をしっかりと聞き、それをいろんな形で反映させていく。議会の質問あるいは意見書の提案、皆さんから出されます請願が可決されるように努力しております。また、研修なども政務調査費なども使いながら、会派としての研修も重ねておりますし、委員会などの研修も積極的に参加させてもらっております。

(議長) 先ほど私の方から町長に申し入れをさせてもらったと私の方から簡単に説明させていただきます。佐々木議員がさっきおっしゃいましたが、町長は360日だと。我々は8時間計算で約170日やと。そういう点から半分もら

ってもいいんじゃないかという事でございました。それはさておき、私は丁度6期になります。24年になります。当初議員の中では、本議会から本議会の間、委員会の調査というのはあってなかったようなものであったと記憶しております。ましてやその時には費用弁償、1回あたりなんぼやという費用弁償がありました。昔だから金額的には少なかったけれども、費用弁償でだいぶアップになって、一般の人より多かったんじゃないかなという思いがありました。けれども今は、委員会最低2つか3つ入ってもらっておりますし、必ず月1回はその委員会にでてきて、調査研究あるいはいろんな行政との意見交換会などいろんなことをやっております。したがって、そういった出席するところが多くなったという事で今170日程ということになりました。ただ、報酬審議会から金額は提案いただいておりますが、議案として町長から頂いておりませんので、おそらくこれがそのまま提案になるだろうと思いますが、実際は、その提案金額より上になるか下になるかわかりませんので、その点についてはご勘弁願いたいと思います。

(質問) 3 4年前の定数削減の経過は・・・

今日のこの議題は、定数と報酬についてということになっております。先ほどから江藤先生からいろいろ聞きまして、やっとうこういうことかなとわかりましたが、どういうことをしたらいいかということを含めて、私、定数と報酬について7年前の時どういうことになったか、また、先生から事務局が足らんという事もおっしゃいました。事務局の何人か分の人件費はもらうという方法もあるし、そういうことも含めて7年前の状況を教えてほしいなと思っておりますがどうでしょうか。4年前定数削減された経過を。

(回答) 3

4年前、22名から18名へ削減ということですが、そのまた4年前にも2名減ということで削減の話がありまして、それに関しては否決となりました。再度2名減ではなく4名減と4年前に採決されました。ただ、この時は拮抗してまして、22名は多いので4名減と、僅差で削減されまして今に至っております。

ただ、報酬問題についてはその時に関してはいっさい話はでませんでした。ただ、現状、世の中が非常に議員定数削減という風潮になってましたし、そういう中で皆さんの意見で4名減となりました。

(江藤先生) 私は定数については何人ぐらいがいいかどうかは今日は話してないですね。増やせばいいという事でもないし、私自身は定数については住民の声を聞くから相当の人数を増やせばいいという議論がなくはないのですが、どこまで増やしたらいいかわからないものですから、じゃ、少数がいいかという少少数で機能的に動くというのは行政の論理なんですね。どこで着地するかというと、決まりがあるわけじゃなくて、今まで住民の勘で決めてたんですが、これから住民参加とかいろんな動きがあるんで人口だけで決められるんじゃないかと思っています。私自身は議会本来の意義は議論する場だと思っているので、少なくとも常任委員会というのは、ここちょっと複雑なんですけど、1常任あたり7・8人は必要なんじゃないかって言ってるんですね。でもこれも仮説です。私自身は下げればいいという議論にはくみませんが、下げる場合もあるかもしれないんですけど根拠が必要だなという事。今回はお話してなかったんですが、増やせばいいというのは違うという事、減らせばいいわけでもないという事は言いました。

(質問) 4 事務局体制不足が負担に

事務局は足らんという事を先生がおっしゃいました。そういう点で皆さんの仕事がどんどん増えて報酬が上がらないという事では、本当に気の毒だと思います。精華町の最高議決機関ですよ。それを皆関心を持って町民が思っていたらいいけど、最近は町民自体が関心がないんですよ。そこで問題が起きてこういうことになっていると思います。皆さん個々に走ってもらっているけど、本当に関心を吸収して反映されているかということなかなか難しい。その点教えてください。

(回答) 4

事務局体制ですが、全国町村では約2.5人。精華町では3人態勢なんですけど、議長として毎回増やしてほしいということは申し入れておりますが、理事者側は、まだもう少し辛抱してくれと、バイトでまかなっております。1人だけバイトで来てもらっております。もう少し辛抱してもらってほしいということもございまして、もちろん条例も変えなければならないのですが、その場合はひとつご勘弁願いたいという事でそのやり取りはしております。まだまだ活発な意見ができれば、今は私ら絶対数が足らんと認識しておりますがちょっと待ってほしいということでもあります。ひとつよろしくお願い致します。

(質問) 5 事務局体制費分を報酬に

現在の報酬では大変難しいと思います。そういう点について先ほどおっしゃった事務局の何人分だけ報酬の方にまわしてもらったらどうですか。提案致します。これも方法ですよ。どうですか。

(回答) 5

貴重なご意見ありがとうございます。

(質問) 6 情報源である「議会だより」、記事の工夫・・・

いわゆる議会は住民自治の一番大事なものだ。で、私たちそれを確認できるのはここにある議会だよりなんです。この議会だよりで半分以上のページをさしているのが一般質問です。これは私は非常に大事なことだと思っているんですが、先生はこの一般質問についてどの程度、割合的にこれは非常に大事だとかこれは常任委員会でいいんじゃないんかとかをお聞かせ頂きたい。

(回答) 6

(江藤先生) 私は町村議会の議会だより、ここのを含めて読みやすいと思うんですね。今言われたように、議会の本来は質問だけではなくて、今、委員会主義と言われましたが、委員会でどんなふうに議論をしててどういう提言をしながらやっているかどうか、監視と提言というのは今後大事です。そういう意味では、今までの一般質問を重視したような議会だよりづくりから、議会を議論しながら調査研究して提言して住民に呼びかけていくというような、シフトするような時期と思っています。徐々に変わってきているんだと思います。私自身は一般質問も否定するわけではない。どういう議論がでてくるのかどうか、そのことによって今後の町政が分かるという意味では一般質問も大事。今お話ししたように委員会がどういう視察を行ったり、どういう提言をして調査研究する。そういうことも今後必要かなと思います。是非、これ（精華町の議会だより）を見ると、先駆的だと思われるのは、議員がその議案についてどういう風に賛成したか反対したかというのが明確に書かれていること。かなり全国的にも先進的だと思うんですが、一般質問に出たことを後から調査をした結果をここに

入れているんですね。そういうことも含めて今後課題として議会だよりを充実させるということを是非住民のかたも提言されたいかなと思います。あと1点、この議会だよりを配って、読む人は読む、読まない人はポイっというのではなくて、是非議会としても議会だよりをもとにしながら勉強会をやっていくということ。今議会報告会というのがありますが、議会だよりをもって1年間こういうことをやっているんだよと意見交換会をするために。貴重な素材だということ最後に強調したいと思います。

(質問者の意見) この議会だより、私たちにとっては非常に大事なものだ。

それで、一般質問、どれだけの方が、この4年間されたか調べさせてもらいました。

ビックリしたのはこの4年間、3月会議があるので15回、1回も質問されていないかたがいらっしゃる。そして12回もしておられない人。9回もしておられない人。7回もしておられない人が2人いると。4回もしておられない人が4人いてはるんですね。4人いるということは1年間何もしてないと。一般質問もしてないと。非常に一生懸命しておられる方。これは15回4人のかたがしておられる。議会というのは、この12月を見ると16日ですね。20日とみて、委員会の数字とか調べると、年間100日。一般のサラリーマンは年休とか、盆休みとか土日とか祝日を除くと、いわゆる勤務日数は250日近くある。250日と100日、2.5倍、2倍としても、給料、今24万と聞きましたから、皆さん方は48万の給料の値打ちがあるわけです。で、政務調査費が7千円、年間にしたら8万4千円。で、委員会視察の5万円をいれますから、13万円の値打ちがあるわけですね。政務活動費。反対意見で申し訳ありませんが、問題だと思います。中学校の給食、全国で実施率80.4%です。

ここではできていない。で問題は何かというと、財政的な理由でいまだに実施できない状況であるとしているんです。財政的に窮屈している段階であるのに、報酬アップしていいのか。通年議会という形で討論していく議論を深めていくことは大切ですが、その辺を勘案してみると私は反対の意見を述べさせていただきました。

(質問) 7 議員報酬、分かった上での立候補、なのに・・・

今日のテーマである定数と報酬についてということですが、4年前に定数削減されたのは町財政と関連があるからとちがうんですか？ 今日、話を聞かせても

らったなかで、今の議員さんだけの話じゃなしに、今回5月にある選挙で、幅広い人材を集めるために、ちょっとでも給料あげたなかで立候補してもらったという話ですが、4年前に定数削減された。そもそも月給なんぼですとわかってるわけ。そこに議員さんが手を挙げて「私、立候補します。」と言って、今議員さんになっていはいはる中で、今議員さんの立場になった時に自分らの報酬上げろというのはおかしい。町財政どうですのん。私、議員さんの活動とかわからない中で、勉強してないなかで参加させてもらったんやけど。町が苦しいのに、議員報酬上げるのはおかしいんやないか。町財政の事も含めて教えてもらえたらと思います。

(回答) 7

先ほどの中学校給食の件も加えて申し上げます。中学校給食は東日本大震災があった時に国から補助金の予定をしておりました。しかしながら人命尊重という事で耐震化をさきにやったおかげで、給食は後回しになったというわけでございますので、先ほども申し上げましたように、政務活動費を使って、先般はある会派は、京都府の教育庁・国の文部科学省にも陳情要望に行っておられます。

そう言ったことをご理解賜りますように。それと町の財政との関係ですが、去年から一般財源が約1億5千万円ほど徐々に伸びてきております。そういった中で4年前はそこまでいってなかったんですが、伸びてきておるおかげをもって、我々としては今話してるのは約0.3、4%ぐらいにあがるだろうなという計算のもとでやってるんですが、とりあえずは、アベノミクスかなんか知りませんが財政的には伸びてきておること自体は現実でございますので、そこらへんを踏まえて、今回、本当に言いにくいわけです。選挙の前ですので。しかしながら私が責任をもって、私も最初挨拶の中でも申し上げましたように検討してくれと18年間もなかったというのはおかしな話やと。こういう事の中で申し上げたものでございますので、何とかご理解賜りますようお願い致します。

(質問) 8 定数の削減、地元の声が届きにくく・・・、定数復元は

それでは関連した質問ですが、定数削減の時に我々住民にまで聞き及んできた話は、町の財政が大変厳しいと。近隣の町村も削減していると、そういう事であったと思います。今回議員報酬の増額について、すでに報酬審議会では3回目の審議会が開かれて、結審がでております。公聴に行っていました。

それも決していかんとは思わないけど、定数を削減したおかげで住民の声の代弁者として行政にももの言う人の数が減るといのは以前と比較しますと、議員さんがおられない地域が随分増えています。どちらかと言うたら、旧村の地域にそういう傾向が如実に表れています。これはどういうことかと言いますと、住民要望はいろいろあると思うんですが、例えば、インフラ整備、住民の皆さんの環境、それから農業の政策これらについては農家が多いんですよ。そして、大阪ガスは入っていない、それからさらに、処理場がまだできてないというようなどころがあるくらいですので、要望は確かに細かく日常生活の環境の問題などがあると思うんです。そういう状況の中で、定数をもとに戻してもらおうという声もあってしかるべきやから、私もそういう方向でお願いしたいと思っております。議会の報告会でほとんど出席して聞いておりますが、そこで発言された定数についての議論は賛否両論ありましたが、5年くらい前にもそういう場面に座っておりました。私は定数削減の反対の意見を言っておったんですが、定数削減の賛成の意見もあって、その場では感じとしては賛否両論あって、五分と五分くらいやったと思うんですが、しかし、議会の自らの権力というか議決権を行使されて、削減されたということに結果としてなったわけですが、これから財政が多少豊かになったという傾向があれば、あわせて定数を22名に戻すような状況にならないのかなと。人口は、精華町3万7560人くらいです。おいおい増えてきておりますし、反比例するような議員定数の状況は住民の自治というものから遠く離れていくような気がするのですが。

(回答) 8

貴重なご意見ありがとうございます。今後、検討をさせていただきます。よろしくお願いいいたします。

司 会 ありがとうございます。申し訳ございません。予定の時刻となっておりますのでこれを持ちまして意見交換を終了させて頂きたいと思っております。頂きました貴重なご意見は是非精華町議会で生かしてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。誠にありがとうございました。

以 上